

石巻で学ぶ

申込は
コチラ



2011年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の日本国内観測史上最大規模の地震が発生しました。東北地方を中心に甚大な被害をもたらした東日本大震災です。当時、建物の被害がほとんどなかった石巻専修大学は、キャンパスを自衛隊の基地やボランティアの拠点として提供するなどし、被災直後より石巻市と二人三脚でまちの復興に携わってきました。あれから13年、現在の石巻市は、内閣府の「世界の復興モデル都市」に選定され、安全で安心な未来志向のまちづくりを目指しています。この公開講座「石巻で学ぶ」では、東日本大震災を経て、まちの再生から未来に向けて新たに生まれ変わろうとしている石巻市を舞台に、これまでの取り組みとこれからの目指すべき方向性について共有させていただき、未来のまちづくりについて皆さまと一緒に考えていきたいと思ひます。



梅山 光広 教授
(理工学部機械工学科)



庄子真岐 教授
(経営学部経営学科)

プログラム内容

1部 復興の記録

「解説員 / 語り部の違い」在学学生（解説員）による
東日本大震災の記録についての講演
(人間学部人間文化学科3年次 佐藤陸さん)

2部 未来のまちづくりに向けて

- 「復興まちづくり。-心の復興は現在進行形-
「まちづくりプレイヤー」としての奮闘」
(庄子真岐 経営学部教授)
- 「革新プロジェクトを推進する人へのエール
-チャレンジ開発のマネジメント事例-」
(梅山光広 理工学部教授)



3部 パネルディスカッション

(梅山光広教授 × 庄子真岐教授 × 阿部知頭教授 × 佐藤陸さん)

※プログラム内容のテーマについては、当日変更される場合があります。

日時

2024年
3月16日(土)
13:00~16:30

場所

専修大学 神田校舎
(東京都千代田区神田神保町3-8)
10号館8階 10081教室

参加費無料

当日の登壇者



理工学部 機械工学科
梅山 光広教授

トヨタ自動車株式会社にて、初代プリウスや各種ハイブリッド車、MIRAI の開発を担当。技術統括部長時代に、環境技術計画を策定。豊田中央研究所に移籍後、機械学習を使ったエンジン開発などの研究に従事。2020年に本学へ着任後、翌年には大学開放センター長を務め「SDGs まちづくり」「将来モビリティ研究」について取り組んでいる。



経営学部 経営学科
庄子 真岐教授

東北大学農学部卒業後に、東レ株式会社に総合職として勤務を経て、東北大学大学院経済学研究科修士（経営学）、博士（経済学）を修了。東日本大震災が発生する1年前、本学に着任。子育てと両立させながら、ゼミ生と共に石巻市の企業と連携しながら、まちづくりの活動に取り組んでいる。



理工学部 生物科学科
阿部 知顕教授

東北大学大学院理工学研究科博士課程修了。2004年に着任後、2010年理工学部生物科学科教授。研究は「動物発生学」を専門とし、2023年4月、理工学部長に就任。



人間学部 人間文化学科 3年
佐藤 陸さん

東日本大震災を知らない・分からない人と同じ視点で話せる解説員を目指して活動中。石巻市主催事業「石巻防災・震災伝承のつどい『ともに語ろう ふるさと・命・未来』」にパネリストとして参加。次世代の継承者として、活躍中。

石巻市の概要と現状課題

石巻市は、宮城県北東部に位置し、仙台市に次いで2番目に人口が多いまちです。漁業が盛んで、世界三大漁場のひとつ金華山沖は、有名です。手つかずの森には、天然記念物の二ホンカモシカが生息しています。自然豊かな石巻は、震災以降、これまで多くの方々のご支援を頂き、再生し今日を迎えています。現在の石巻市は、世界の復興モデル都市として、人びとが、豊かな心を持ち、安全・安心に暮らせるまちづくりを目指しています。その実現のためには、これまでにない発想が原動力となります。ぜひ、皆様には、未来都市実現のための取り組みに対して共感いただき、共に向かっていただけたら幸いです。

